

18歳で成人になる子どもたちのインターネット安全活用について ～「保護者が押さえておきたい4つのポイント」より～

今年度から、成人年齢が18歳に引き下げられ、学生でも成人として扱われるようになり、親の同意なく一人で契約が締結できたり、未成年者取消権の行使の対象外となりました。保護者が寄り添い、見守ることで「自分の力でコントロールできる18歳」に向けた準備を心掛けましょう。

【セルフコントロール力を育む】

「子どもの方が詳しいのでできることはない」そんなことはありません。人生経験や社会経験に乏しく、判断力も未熟な高校生は、適度なサポートが正しい自立を促します。

スマホの時間管理ツールを使った自己管理を親子で始めて見てはいかがでしょうか。

【決まりを守る＝自分を守る】

心配をかけたくない気持ちから一人で抱え込むこともあるようです。信頼できる身近な人への早めの相談が大切です。

「いつでも力になるから困ったら相談してね」という約束なら、重荷になりません。小さなルールでも、守って行動することが安全の第一です。

一緒に時間管理をすれば共通の話題が増えます。スクリーンタイム（iPhone）やDigital Wellbeing（Android）のような機能も活用してみましょう。



〈参考〉・内閣府 青少年の保護者向け普及啓発リーフレット

「保護者がおさえておきたい4つのポイント（生徒編）」

https://www8.cao.go.jp/youth/kankyau/internet_use/r03/leaf/pdf/leaf-print.pdf